

荒神川都市基盤河川改修事業の内容と予定

都市安全部 公園河川課

1 事業概要

荒神川は過去から度重なる浸水被害に見舞われており、昭和 58 年 9 月 26 日～28 日台風 10 号により連続雨量 364mm 最大時間雨量 64mm を記録した。この豪雨により床上 9 戸、床下 1223 戸の浸水、国道 176 号の一部を通行止め及び宝塚ファミリーランドの冠水等の被害を受けた。また、当該河川流域の一部は隣接の大堀川へ流入しており、大堀川流域において浸水被害を引き起こす要因となっている。

このため、沿川浸水被害を防止すること及び当該河川が隣接河川に及ぼす影響から、治水安全度 1/10 の整備を目標とした河川整備を進め、地域住民が安全で安心して生活できる環境を確保する。

事業区間：武庫川合流部～荒神橋まで

事業延長：990m

計画流量：39 m³/s～36 m³/s（現況 13 m³/s）

計画規模：10 年確率

事業期間：平成 7 年度～令和 4 年度

事業費：40 億円（国・県・市 各 1/3 負担）

2 工事進捗状況

(1) 令和 2 年度

工事費：7,051 千円

工事内容：新荒神橋～安場橋までの一部区間 L=46m の河川改修工事
（土工、底張りコンクリート工）

(2) 令和 2 年度末累積施工延長：676m

(3) 令和 2 年度末整備率：約 68%（676m／990m）

3 今後の予定

(1) 令和 3 年度

事業内容：新荒神橋～安場橋の区間

1) 河川改修工事（オープンシールド工法）L=40m

2) 電線（支線）移設補償

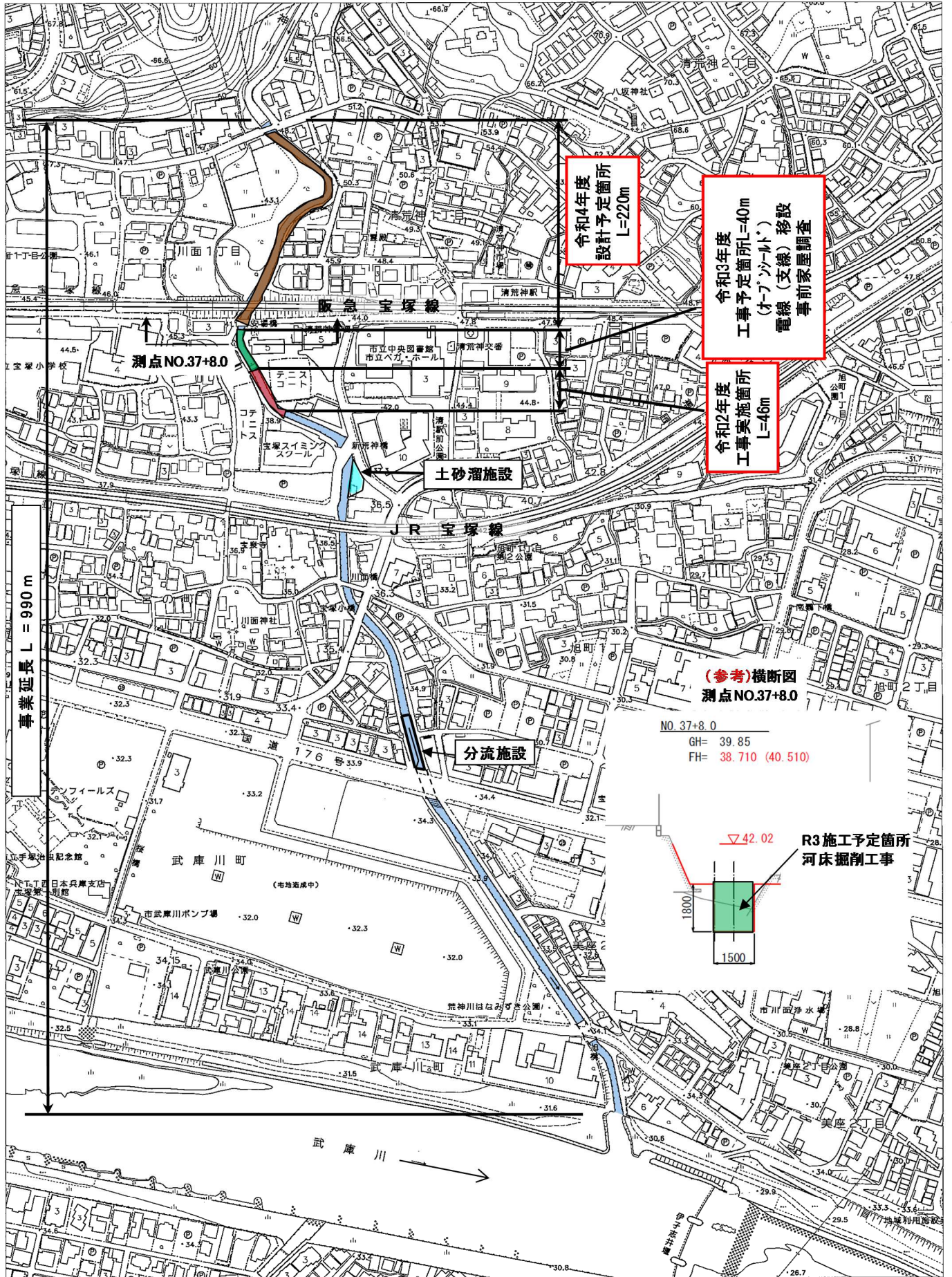
3) 事前家屋調査

(2) 令和 4 年度

事業内容：安場橋～荒神橋の区間約 220m の概略設計業務等を実施予定。

荒神川・都市基盤河川改修事業

事業区間位置図



令和4年度
設計予定箇所
L=220m

令和3年度
工事予定箇所L=40m
(オープンカット)
電線(支線)移設
事前家屋調査

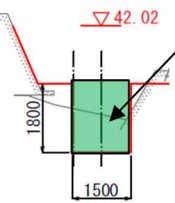
令和2年度
工事実施箇所
L=46m

土砂溜施設

分流施設

(参考)横断面
測点NO.37+8.0

NO. 37+8.0
GH= 39.85
FH= 38.710 (40.510)



R3施工予定箇所
河床掘削工事

事業延長 L = 990 m

